

# 環境学習プログラム(案)の概要

## 小学生対象環境学習プログラム

### 漂着ごみを探そう！(仮)

#### ねらい

- ・漂着ごみの現状を知り、漂着ごみは「誰が・どこで・どのように」生み出したかを考えることができる。
- ・海と森や川とのつながりや海辺に生息する生きものへの興味・関心をもつことができる。
- ・漂着ごみの発生抑制の重要性に気づき、日常生活での行動につなげることができる。

#### 概要

海岸に落ちている漂着ごみを拾い集め、観察しながら散策する「**ビーチコーミング**」の手法を「**お楽しみ要素**」として取り入れ、漂着ごみの発生原因や漂着ごみが生きものや経済活動に与える影響、そして発生抑制について学ぶ。

対象 小学生中学年以上～

対象単元

小学第3, 4, 5学年 社会「 (単元名称を記載予定)」

所要時間 2時間

参加人数 20～30名程度(指導員 2～3名)

#### 学習の流れ



漂着ごみへの  
関心を高める。



ビーチコーミング  
を体験し、漂着ご  
みの現状を知る。



漂着ごみの発  
生原因や発生  
抑制について  
考える。



日常生活での行  
動の大切さを理  
解する。



イラストは、仮です。

#### 準備

##### 漂着ごみサンプルー式



(さまざまな種類の漂着ごみを袋にパックしたものを準備)

##### 写真教材

写真教材  
画像  
(別紙1-2参照)

##### 補助教材

補助教材表紙  
画像  
(別紙1-3参照)

##### ワークシート



(別紙1-1参照)

##### 文具類

- 参加者
- ・筆記用具
- ・軍手
- 主催者
- ・漂着ごみを入れるビニール袋
- ・軍手
- ・トンク、ハンドシャベル、カッター、ハサミ
- 漂着ごみを探る際に必要な場合があるため
- ・レジャーシート
- ビーチコーミングで集めた漂着ごみをレジャーシートにおき、共有するため
- ・クリップボード
- ・ホイッスル

学習の流れ					
流れ	所要時間	学習の内容	指導員のはたらきかけ	留意点	準備物
導入 (屋内)	15分	漂着ごみサンプルを見て、漂着ごみにはどんなごみがあるかを知る。	漂着ごみサンプル一式を見せ、漂着ごみが海岸で捨てられたものか、それとも別のところから来たものかについて興味・関心を持つように促す。 実際に、海岸にどんな漂着ごみがあるかを確認める「ワークシート1(漂着ごみ！？ビンゴ)」を使ったビーチコーミングの方法を説明する。 グループに分け、リーダーを決めてもらい、各グループに「ワークシート1」やビーチコーミングに必要な準備物を配布し、役割分担させる。  1グループ5～8名程度	机は、グループごとの島にレイアウトしておく。 各班に、ビンゴで見つけたものを入れるビニール袋とそれ以外の漂着ごみを入れるビニール袋2つを提供する。 展開2で使用 グループ内での役割分担では、ビンゴの記録を取る人、ビンゴ用ごみ袋を持つ人、ビンゴ以外のごみ袋を持つ人を決める。	
	5分		海岸への移動を先導する。		
展開1 (屋外)	30分	漂着ごみの現状を知る。 ビーチコーミングを通して、海と森や川のつながりに気づく。	漂着ごみは、流されてきたものが多いことに気づくように促す。 漂着ごみだけでなく、木の実や海岸に生息する生きもの等についても探すように促す。	指導員の声が届く範囲でビーチコーミングを行う。 各グループの活動状況を監視し、安全を確保する。	指導員 ・軍手 ・トンク、ハンドシャベル、カッター、ハサミ
(屋外 or 屋内)	15分	さまざまな漂着ごみがあることや流されてきたものが多いことを確認する。	ホイッスルを鳴らし、集合させる。各グループがビンゴをもとに見つけたものをレジャーシートにおく。 指導員が問いかけ、各グループの何人かに発表してもらう。 発表を受け、さまざまな漂着ごみがあり、それらの多くが流されてきたものであることを伝える。	集合場所には、レジャーシートを敷いておく。 ビンゴで見つけたもの以外で、注目して欲しい漂着ごみがあれば、共有する。	指導員 ・ホイッスル ・レジャーシート

学習の流れ					
流れ	所要時間	学習の内容	指導員のはたらきかけ	留意点	準備物
	10分	-	屋内への移動を先導し、休憩を取らせる。		
展開2	25分	漂着ごみは、「誰が・どこで・どのように」生み出したかを考える。 漂着ごみは、生きものや経済活動にどのような影響を与えるかを考える。 漂着ごみを減らす方法について考える。	「ワークシート2(漂着ごみ博士になろう!)」を配布・説明し、各グループで話し合っ、空欄を埋めるように促す。 「ワークシート2」のQ3を発表する人をグループ内で決めてもらう。	ビーチコーミングの際に拾った漂着ごみを参考に考えてもらう。 危険な場合もあるため、ビニール袋の外から眺める程度に留めさせる。 漂着ごみを触る時は、必ず軍手を着用させる。	指導員 ・ワークシート2 参加者 ・軍手
まとめ	20分	漂着ごみの発生原因、影響を理解する。 発生抑制の重要性に気づき、日常生活での行動が大切であることを理解する。	「ワークシート2」のQ1については、指導員が問いかけ、各グループの何人かに発表してもらう。Q2は、指導員が回答を伝える。Q3は、各グループに発表してもらう。 発表を受け、漂着ごみには、私たちがだしたごみがたくさん含まれており、それらを減らす行動をとることが大切であることを改めて伝える。 補助教材を配布し、家に帰ってから、保護者に今日、学んだことを伝えるように促す。	Q2の回答は、写真教材を使いながら、回答を伝える。	指導員 ・写真教材 ・補助教材



## 漂着ごみ!?ビンゴ!

実施日 年 月 日 ( ) 名前

動物の落し物	貝がら3種類	動物の足跡
魚釣りに つかうもの	★ スペシャル	飲み物・ 食べ物のごみ
おもちゃのごみ	森から 流れてきたもの	海ならではの音

「漂着ごみ!?ビンゴ」では、漂着ごみだけでなく、森から海へのつながり、生きものの生息状況を気づかせる要素を取り入れる。

## 漂着ごみ博士になろう!

実施日 年 月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

Q1. どんなものがある、どこからやってきたか考えよう。

Q2. 漂着ごみがどんな影響をあたえるかを考え、あてはまるものに、あてはまらないものに×をつけよう。

### 生きものへの影響

- 食べる
- 動けなくなる
- 元気になる
- すみかにする

### 観光・レジャー（海水浴等）への影響

- 観光客が減る
- 海岸をきれいにするためにお金がかかる
- 遊び道具に使える
- ケガをする

### 漁業への影響

- あみにひっかかる
- 船が動けなくなる
- のりの養殖にごみがまざる
- 高く売れるごみがとれる

Q1では、どんな漂着ごみがあり、それらがどこから来たのかを考え、漂着ごみの多くが、陸域にあるゴミであることを実感する。  
 Q2では、漂着ごみが、生きものや経済活動にどのような影響を与えるかを考える。

Q3.漂着ごみを減らすために、各場面でごみを出した人や私たちができることを考えよう。

海辺で遊ぶ人



街・家にいる人



会社・工場で働く人



田畑で働く人(農家)



海で働く人(漁師) / 釣りをする人



記入例

Q3.漂着ごみを減らすために、各場面でごみを出した人や私たちができることを考えよう。

海辺で遊ぶ人



- ・海水浴などで出たごみは、持ち帰る
- ・ごみを拾う / クリーンアップ活動に参加する
- ・風でものが飛ばされないように気をつける
- ・浜辺の生きものを観察し、生きものに親しみをもつ

街・家にいる人



- ・なるべくごみを出さない生活を送る  
(余分なものは買わない、詰め替え商品を使う、ものを大切に長く使う等)
- ・ポイ捨てをしない
- ・ポイ捨てしてしないよう、呼びかける
- ・ポイ捨てされたごみを拾う

会社・工場で働く人



- ・なるべくごみを出さないようにする
- ・エコな(分解される)素材を開発する、使う
- ・廃棄物が飛ばされないように管理する
- ・働く人にごみ減量の重要性を伝える・教育する

田畑で働く人(農家)



- ・肥料の袋や苗木ポットが、風で飛んだり、雨で流されないように気をつける
- ・エコなもの(自然に分解される)を選ぶ

海で働く人(漁師) / 釣りをする人



- ・浮き、フイが流されないように気をつける
- ・魚を入れる発砲スチロール箱が飛ばないようにする
- ・エコなもの(自然に分解される)を選ぶ
- ・ポイ捨てをしない
- ・釣り道具が風に飛ばされないようにする

Q3では、Q1のうち、各場面で出されたごみをどうすれば減らせるかを考える。



# 別紙1 - 2 (写真教材イメージ)

写真を見ることで、「ワークシート Q2」の回答(漂着ごみが各分野に与える影響)を知る。

生きものへの影響



Photo by JEAN



Photo by JEAN



Photo by JEAN

観光・レジャー(海水浴等)への影響



観光・レジャーへの影響  
を示す写真

観光・レジャーへの影響  
を示す写真

漁業への影響



漁業への影響を  
示す写真

漁業への影響を  
示す写真

(1) タイトル案

海のごみと生きものたちへの影響 (仮称)

(2) 発行目的

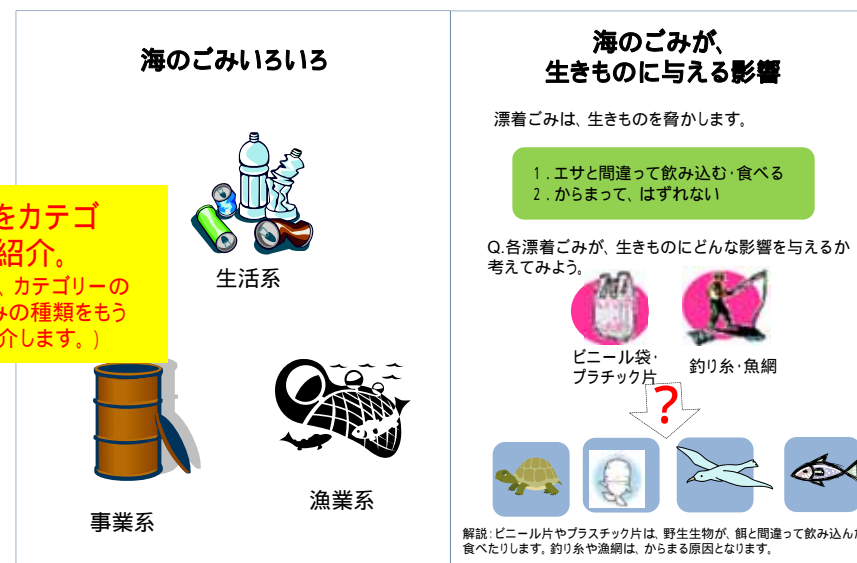
海のごみが、海辺に生息する生きものにどのような影響を与えるかを伝える補助教材とする。また、愛知の海辺に生息する代表的な生きものを伝える。



愛知県を代表する生きものをいくつかピックアップして掲載する。

(3) 仕様

- ・ A 5 サイズ
- ・ 全 4 頁



漂着ゴミをカテゴリー別に紹介。  
(実際には、カテゴリーの中の漂着ゴミの種類をもう少し細かく紹介します。)

漂着ゴミと生きもの関係性を考えさせる。

←被害にあっている動物の様子をイラストで掲載

# 漂着ごみでモビールづくり！（仮）

## ねらい

- ・漂着ごみの現状や漂着ごみが生きものや人体に与える影響を知り、発生抑制の重要性に気づくことができる。
- ・海と森や川とのつながりに気づき、漂着ごみは陸域から流されてきたものが多いことを知る。
- ・漂着ごみの発生抑制について、自分の考えを持ち、主体的な行動がとれるようになる。

## 概要

漂着ごみによる海洋汚染の実態を伝える映像教材や海岸に落ちている漂着ごみで**モビール作品**をつくる「**お楽しみ要素**」を取り入れ、漂着ごみの発生原因や漂着ごみが生きものや経済活動に与える影響、そして発生抑制について学ぶ。

対象 中学生以上～  
対象単元

中学校 社会 公民分野「 （単元名称を記載予定）」

所要時間 2時間

参加人数 20～30名程度(指導員 2～3名)

### 学習の流れ



漂着ごみへの興味・関心をもつ。漂着ごみの発生原因や発生抑制について考える



ビーチクリーンアップを体験し、漂着ごみは陸域から流されてきたものが多いことを知る。



漂着ごみのモビールづくりを楽しみ、。



漂着ごみの発生原因や影響を理解し、発生抑制について、自分の考えをもち、自分自身ができることを知る。



イラストは、仮です。

## 準備

DVD「ゴミ箱になった海」  
(作成：一般社団法人JEAN)



漂着ごみの中でも生きものへの被害が大きいプラスチックごみの実態を伝え、漂着ごみを食い止める方策等をわかりやすくまとめた内容です(15分)  
「1:32～2:25」間にウミドリの解剖シーンが含まれています。

### 愛知県の海の生きもの素材シート



### クイズ教材

クイズ教材  
画像  
(別紙1-4参照)

### ワークシート

ワークシート  
画像  
(別紙1-6参照)

### 文具類

#### 参加者

- ・軍手
- ・主催者

- ・DVD視聴用機材
- ・漂着ごみを入れるビニール袋(大)
- ・モビール用の素材を入れるビニール袋(小)

- ・トング、ハンドシャベル、カッター、ハサミ  
漂着ごみを採る際に必要な場合があるため
- ・ホットボンド、接着剤、グルーガン
- ・はさみ
- ・糸
- ・布巾(雑巾)



## 学習の流れ

流れ	所要時間	学習の内容	指導員のはたらきかけ	留意点	準備物
導入 (屋内)	25分	DVD視聴を通して、漂着ごみによる海洋汚染の実態を知り、漂着ごみへの興味・関心をもつ。 クイズを通して、漂着ごみが外国の問題ではなく、日本の問題でもあることや私たちが出す生活系ごみが多く含まれていることを知る。 漂着ごみが、愛知県の海で見られる生きものに影響を与えることに気づく。	DVDを視聴してもらう。 漂着ごみへの理解をさらに深めてもらうために、クイズ教材を実施し、何人かに回答してもらう。 クイズ教材実施後に、全体の流れを説明する。 展開1: クリーンアップ体験 展開2: モビールづくり まとめ: 「ワークシート」を用い、漂着ごみを減らす方法を考える モビール用の素材として、「愛知県の海の生きもの素材シート」が使えることを説明する。また、シートに掲載されている生きものが漂着ごみの影響を受ける可能性があることも伝える。	クリーンアップ体験用のビニール袋とモビールづくり用の素材を入れるビニール袋を配布する。	指導員 ・DVD ・クイズ教材 ・愛知県の生きもの素材シート ・ビニール袋 参加者 ・軍手
	5分		海岸への移動を先導する。		
展開1 (屋外)	25分	海と森や川のつながりに気づき、漂着ごみは、陸域から流されてきたものが多いことを知る。	クリーンアップ体験を実施させる。 漂着ごみは、流されてきたものが多いことに気づくように促す。 漂着ごみだけでなく、モビール用の素材になる貝殻、枝等を探すように促す。	指導員の声が届く範囲でクリーンアップ体験を行う。 各グループの活動状況を監視し、安全を確保する。	指導員 ・軍手 ・トング、ハンドシャベル、カッター、ハサミ
(屋外or 屋内)	5分	さまざまな漂着ごみがあることや流されてきたものが多いことを確認する。	ホイッスルを鳴らし、集合させる。 指導員が問いかけ、何人かにどんな漂着ごみがあったかを発表してもらう。 発表を受け、さまざまな漂着ごみがあり、それらの多くが流されてきたものであることを伝える。		

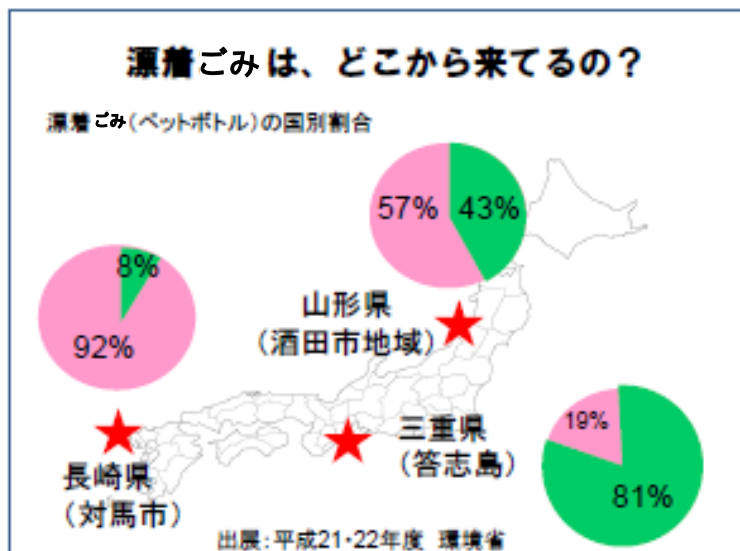
## 学習の流れ

流れ	所要時間	学習の内容	指導員のはたらきかけ	留意点	準備物
	10分	-	屋内への移動を先導し、休憩を取らせる。		
展開2	30分	愛知県の海で見られる生きものを知る。	モビール用の素材を整え、素材同士の関係性を考えながら、モビールをつくってもらう。  洗って、布巾でふく等	「愛知県の海の生きもの素材シート」を使うように促す。	指導員 ・愛知県の生きもの素材シート ・ホットボンド、接着剤、グルーガン ・はさみ ・糸 ・布巾(雑巾)
まとめ	20分	漂着ごみの発生抑制について、自分の考えを持ち、自分自身ができることを知る。	「ワークシート」を配布し、漂着ごみを減らす方法について考え、記入してもらう。 1人ずつ発表してもらう。		指導員 ワークシート

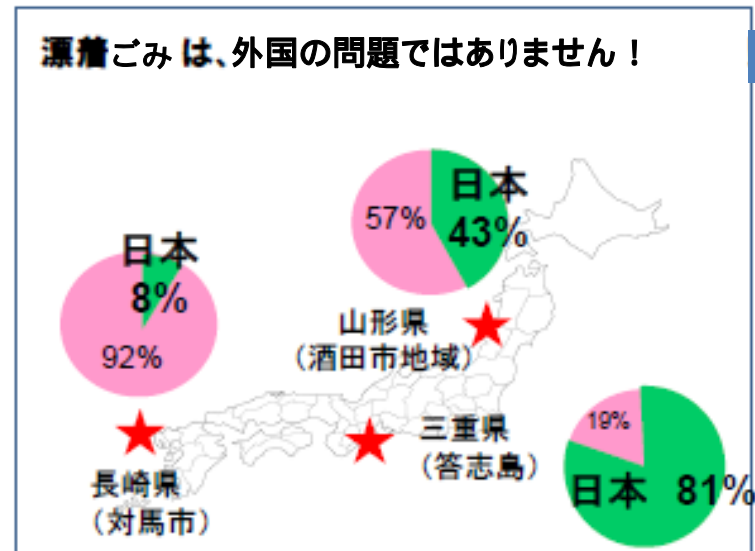
余白には、モビール作品のサンプル作品を掲載

# 別紙1 - 4 (クイズ教材イメージ)

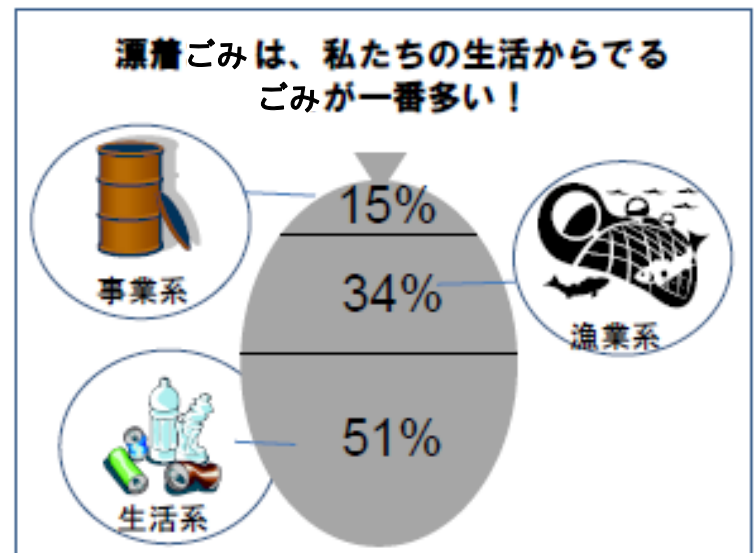
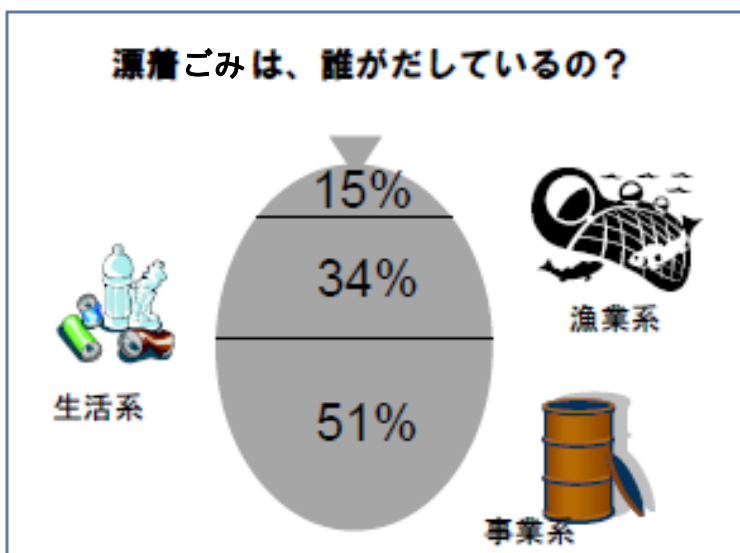
DVDでは、取り上げられていない、漂着ごみに関する誤解が多い基本的情報をクイズ形式で考えることにより、漂着ごみは、私たち自身の問題であることをさらに理解する。



内訳について、どちらが外国で、どちらが日本なのかについて考えてもらう。



どの分野からでているごみが一番多いかについて考えてもらう。



## 別紙1 - 5 (生きものの素材シート)

愛知の海に生息する生きものの形を切り抜けるシートをモビールの材料として使うことで、漂着ごみと生きものの関係性を考える。



漂着ごみの発生原因やそれらが与える影響を知り、発生抑制に対する自分の考えや自分自身ができることを知る。

## 漂着ごみを減らそう！

漂着ごみには、私たちの暮らしや私たちの暮らしを支える産業が生み出したごみが多く含まれます。そして、漂着ごみは、海辺に生息する生きものや観光・レジャー産業、漁業に被害を与えています。

**自治体への影響**  
ごみの回収と処理には大変な手間と費用がかかります。

ごみの処理への影響を示す写真

**観光・レジャーへの影響**  
海水浴等海でのレジャーや美しい景観を楽しむことができなくなります。

**漁業への影響**  
海苔にごみがまざるなど、検査と除去の手間は莫大で費用もかかります。

**生きものへの影響**  
野生動物が間違っって食べたり、絡まって身動きがとれなくなります。

イラスト作成  
(街のごみが流されている様子がわかるようにする)

Q. 下記の中からひとつ分野を選び、私たちが何をすれば、漂着ごみを減らすことができるかを考えてみましょう。

浜・磯   **街・家庭**   会社・工場   田・畑   海